

「このまま働き続けられるだろうか…」「誰に相談すればいいのだろうか…」そんな漠然とした不安や悩みを、人事に相談することもできずひとりで抱え込んでいる教職員が、潜在的にいらっしやいます。教職員の貴重なキャリアを、育児や介護を理由に諦めてほしくないとする学校法人のために、「育児介護支援サービス」は生まれました。

仕事と家庭のバランスを取りながら、いきいきと働き続けられるよう、教職員の皆様を専門的な視点からサポートするための3つのサービスをご提供します。

1 WEB相談窓口 24時間いつでもどこでも

時間や場所を問わず、匿名でご相談いただけます。

- ・ 仕事と育児の両立に悩む
 - ・ 親の介護が始まり、何から手をつければいいのか分からない
 - ・ 利用できる公的サービスについて知りたい
- など、どんな小さな悩みでも、専門の相談員が丁寧に話を伺います。



専門家の情報提供やアドバイス<社労士、行政書士、社会福祉士、公認心理士> 育児・介護に関連する制度や地域サービスは多岐にわたります。相談者の状況やニーズに24時間相談できるサイトです。御校の学内制度、法制度の説明、専門機関などをご担当に代わり説明します。

電子会議室専用サイト WEB相談窓口



事前申込によりID発行（1校10IDまで。それ以降はオプション）

2 育児・介護ハンドブック

この1冊があれば安心！ 仕事と両立しながら育児・介護を行う上での制度やノウハウを、教職員向けに分かりやすくまとめたハンドブックです。休業制度、短時間勤務の情報など、身近において、すぐに役立つ情報満載です。

最新の法制度と大学の制度を同時に理解！



情報の一元化とアクセス性の向上

教職員の安心感とエンゲージメントの向上

管理部門の負担軽減とスムーズな対応

育児・介護ハンドブックの作成は、単なる情報提供のツールではなく、教職員の働きやすさを高め、学校法人の持続的な成長を支えるための重要な投資です

3 介護周知動画

介護は、ある日突然始まることが多いものです。その時になって慌てないためにも、元気な今だからこそ、親子で一緒に考える時間をもつことが大切です。介護が始まる前に知っておくことで、心にゆとりが生まれ、仕事や家族の生活にも良い影響をもたらします。



実際に介護が始まる前に準備期間があった人のほうが、精神的・金銭的な負担が少ないことがわかっています。法定の情報提供だけでなく、40歳からの「ゆるやかな介護準備」も含めた情報をご提供します。

親の現状を知る

家族で「もしも」を話し合う

公的サービスを知る

介護はまだ遠い未来の話であると感じている方々に、「自分ごと」として捉えていただける内容です

無料トライアル実施中！お気軽にお問い合わせください

